

2020年平和カンパをありがとうございます

『チェルノブイリの子どもたちへの医薬品支援』
チェルノブイリ子ども基金

チェルノブイリ事故による影響は、次世代の子どもたちにも健康被害を及ぼしています。平和カンパは、病気の子どもたちの健康回復を目的とした医薬品支援のために使わせていただきました。

医薬品を受け取ったのは、ベラルーシの慈善団体「困難の中の子どもたちへ希望を」の会員の子どもたちです。この団体は、チェルノブイリ原子力発電所の事故後、甲状腺がんを発症した子どもをもつ母親たちにより、1995年に設立されました。現在もさまざまな病気の子どもたちの支援を続けています。

子どもたちはベラルーシ・ゴメリ州の町や村に住んでいます。事故から35年経た今も、ゴメリ州には放射能汚染による立ち入り禁止地区のある町や村があります。そのすぐそばで暮らしている人々もいます。小さいうちから病気を発症する子どももあり、そのような家族は経済的にも精神的にも支えを必要としています。一人の子どもがいくつもの病気を抱えていることもあり、腫瘍病のほかに、甲状腺の異常、骨の異常、喘息、胃腸疾患などのある子どももいます。

チェルノブイリ子ども基金は、現地団体の要望に応え、甲状腺ホルモン剤、カルシウム剤、ビタミン剤を支援しています。また、子どもたちが汚染のない土地で安全な食べ物を食べながら過ごす、転地療養プロジェクトも行っています。



カリーナ (8歳)



サーシャ (3歳)



ソフィヤ (8歳)

チェルノブイリ子ども基金

〒177-0041 東京都練馬区石神井町 3-16-15-408

TEL/FAX 03-6767-8808 E-mail cherno1986@jcom.zaq.ne.jp

HP <http://ccfj.la.coocan.jp/>